

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院

2020年
夏号

Vol.57

泌尿器科について

泌尿器科科長 黒川 哲之



また尿管のダメージが減ること、尿管狭窄や損傷も減っており、体にさらに優しい手術を行っております。患者さんにとって負担が減りさらに安全な手術となりました。

2019年4月より勤務させていただいている黒川哲之です。泌尿器科一般診療の中で、尿路結石、小児泌尿器科、泌尿器科腫瘍、排尿障害を特に専門として治療させていただいております。また金曜日には福井大学から非常勤医師の診察を行っております。金曜日担当医師は、

女性泌尿器科専門で、一般泌尿器科だけでなく骨盤臓器脱（子宮や膀胱などが膈口からの脱出を認める疾患）の診察も行っております。私が専門ではない泌尿器科疾患も補いながら診療体制を構築しております。

当院では特に泌尿器科疾患の中で罹患率（病気になる率）が高い尿路結石（1年間に人口10万人に134人・2005年全国調査）に対しての治療を昨年度より力を入れております。昨年末には最新のレーザー機器（Lumenis パルス120H）を導入しました（北陸初・2020年5月現在導入施設は全国で58施設）。このレーザーシステムで、より尿路結石と前立腺肥大症に対しての治療が進化しました。

尿路結石の手術は、尿の出口（尿道口）

から細かい内視鏡を入れて、直接レーザーで碎石し、さらに摘出を行います。従来のレーザーでも患者さんの身体的負担は大きくはありませんが、従来品と違い、さらに結石の割れる速度が早くなり、尿管に対するダメージが減り、出血が減りました。これによって尿路結石の手術治療において手術時間が短縮します。これらの改善により、この手術の一番多い合併症の術後発熱が格段に減少しました。

また前立腺肥大症に対してのレーザー手術（HoLEP: ホーレップ）も開始し、巨大前立腺肥大症でも手術時間の短縮、出血の減少が可能となりました。これも最新レーザーにより出血量減少（以前のレーザーで行うHoLEP手術と比較して）しております。

腹腔鏡手術なども行っており、丹南地区に安全で安心できる治療を提供できるように励んでおります。よろしくお願いたします。



泌尿器科外来スタッフ一同

新任医師の 紹介



整形外科
たけうら なおと
竹浦 直人

大阪府枚方市出身●
福井大学を卒業後、2016年3月まで大学病院、
2016年4月から1年間丹南病院、2017年4月
から3年間中村病院(越前市)に勤務していま
した。またお世話になります。



外科
こばやし じゅんや
小林 純也

愛知県名古屋市出身●
患者さんの生活スタイルにあわせた診療と丁寧な説明を心がけています。
不安なこと、心配なことがあれば何でもご相談ください。これからよろしくお願ひします。



整形外科
きた で まこと
北出 誠

福井市出身●整形外科として福井大学に3年勤務、小浜病院に3年勤務しておりました。専門分野は特に決まっておりませんが、大腿骨近位部骨折、股関節疾患などに興味があり、診療で丹南地域の皆様のお役に立てればと思います。丹南病院の医療に貢献できるよう日々、努力したいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



総合診療科
にしだ なる
西田 成

広島県広島市出身●
出身は広島ですが、学生時代から沖縄に住み、2年前から福井にやってきました。救急医、内科医として少しでも地域に貢献できればと思ひます。よろしくお願ひいたします。



内科
みつ い けいた
三井 啓太

鯖江市出身●
27年前、丹南病院で出生し、無事故郷に帰ってきました。医師3年目、精神科志望の内科医です。たくさん勉強して、吸収して貢献できるように頑張ります。よろしくお願ひいたします。

排尿ケアチーム会について

皮膚・排泄ケア認定看護師 山崎 彰子

はじめまして！私たち「排尿ケアチーム」は泌尿器科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師、看護師、理学療法士、薬剤師で活動しています。

体の動きは生まれてから成長するにつれて発達し、年齢を重ねることによって少しずつ衰える、というのは自然な流れです。それは、排泄においても同じです。排泄は生きていく上でとても大事でデリケートな行動です。誰しもが「できれば他人の世話になりたくない」という思いを持っています。

排泄に対して悩みを持っていると「誰にも知られたくない」という思いが生まれ、外に出掛けることや、友人やご家族と楽しく過ごせなくなる方もいます。入院される方や排泄で困っている方に「どんな生活を送りたいですか？」と聞くと、ほとんどの方は「トイレは1人でいきたい」と言われます。

入院がきっかけとなり排泄への介助が必要となると、退院した後の生活を変えなければいけません。

私たち「排尿ケアチーム」は、患者さんやご家族の方が希望される排泄の行動を一緒に考え、気持ちよく排泄ができるように入院中から退院した後も、寄り添い、お手伝いしていきます。1人でも多くの方が排泄でつらい思いをしない、いきいきとした気持ちの良い“自分らしい生活を送る”ことができるように、チームで力を合わせてサポートいたします。



● 公立 丹南病院

<https://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/> ●

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31 メールアドレス:tannan-info@jadecom.or.jp
TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151

訪問看護ステーション

メールアドレス:tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

通所リハビリテーションセンター なごみの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242
メールアドレス:tannan-nagomi@jadecom.or.jp

通所介護 よつばの里

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5411 FAX:0778-51-8242
メールアドレス:tannan-yotuba@jadecom.or.jp

